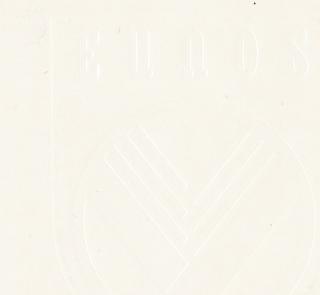


# EUNOS ROADSTER

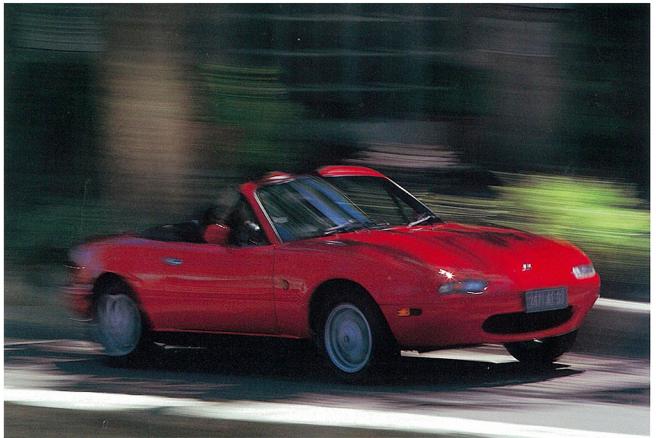


# ときは重なり、ゆめは深まる。

ときが流れ、時代が移り変わっても、はじめて出会った日のときめきが色あせない。いま、だれもが求めているのは、そんな満足感。ユーノスロードスターに乗るドライバーが、みんないきいきと輝いて見えるのも、このクルマとの満ち足りた関係を軽やかに楽しんでいるからに違いない。ユーノスロードスター。基本は小振りなオープンボディ、乗る人を心地よく包むタイトな2シーター、高回転指向1600DOHC、FR。心の通いあつた馬を操るように駆ける「人馬一体感」の楽しさを純粹培養した、新時代のライトウェイトスポーツだ。オーセンティックな味わいを磨き込んだ“Vスペシャル”と、生まれながらのダイレクトハンドリングをさらに研ぎ澄ました“Sスペシャル”。ふたつの個性を育んだユーノスロードスターはいま、ときめきに満ちた時を迎えてる。夢は、じっくりと歳月を重ねるほどに深まっていく。そして、夢の数だけ、人とクルマのしあわせな関係が生まれる。















13 PHOTO:スペシャルパッケージ装着車。エアコン、CDデッキはショッポオプション。



スペシャルパッケージ、SRSエアバッグシステム\*装着車。(SRSエアバッグシステムは、4W-ABS、ティタナルーフハードトップとセットでオプション。) エアコンはショッポオプション。



\*SRS/Supplemental Restraint System(乗員保護拘束装置):SRSエアバッグはシートベルトの補助的な装置です。万一の事故に際し、前方からの強い衝撃に対して作動し、シートベルトの働きと合わせドライバーの頭や胸を保護します。シートベルトは必ずご着用ください。SRSエアバッグは衝突時の衝撃の度合いが小さいと作動しません。



スペシャルパッケージ装着車。エアコン、CDデッキはショッポオプション。



## 人馬一体、ということ。

馬の力をフルに引き出すため、愛情と努力を惜しみなく注ぐ乗り手。乗り手の心身の動きを直感して反応し、彼とともに思いのままに大地を駆けめぐる馬。乗り手と愛馬の間に通うそうした一体感こそ、ドライバーとスポーツカーを結ぶいちばんの絆だ。「人馬一体」というキーワードは、開発陣のそうした思いから生まれた。過給機構をいっさい持たない自然吸気DOHCエンジン、P.P.F.(パワープラントフレーム)でドライブトレイン系を一体化したFR、4輪ダブルウィッシュボーンサスペンション、ヨー慣性モーメントを極少に抑えた軽量設計と低重心レイアウト、高剛性オープンボディ、タイトな2シーター。すべては、クルマの性能をフルに引き出して走る楽しさを求めた結果だ。「人車一体」ではなく「人馬一体」。ステアリングを握れば、その思いは理屈を超えて伝わってくる。

ユーノスロードスターは、可変吸気機構すら持たない純粹の自然吸気1600ccDOHC16バルブエンジンを積む。パワー&トルクは、最高出力120ps/6500rpm(※ネット)、最大トルク14.0kg-m/5500rpm(5段マニュアル車)。とりわけ、高回転域までスムーズに連続するトルクカーブは、自然吸気ならではのものだ。そして高回転設定のバルブタイミング、テーパー径の吸気ポート、軽量コンロッドなどを採用。5段マニュアル車では、マックパワーを発生する6500rpmをゆうに超え、レッドゾーンの7200rpmまで一気に吹け上がる回転特性を実現している。オートマチック車のエンジンは、ミッション特性を最大限に引き出す専用チューンを施し、最高出力110ps/6000rpm(※ネット)、最大トルク14.0kg-m/4500rpmに設定。ダイレクトで軽快で俊敏な走りが、意のままに満喫できる楽しさを実現している。また、クランクシャフトやフライホイールに高い剛性を与える、アルミ鋳造オイルパンをトランスミッションケースと直結させるなど、エンジンの振動を抑え、回転サウンドをより軽快で心地よいものとするための工夫も、各所に凝らした。エンジンの造形美に対するこだわりも大き

※「ネット」とはエンジンを車両搭載状態で測定したものです。



く、カムカバーを一体成型したアルミ製シリンダーヘッドカバーを与えている。補機類の形状やワイヤー類の取りまわしの積極的なデザインもそのひとつだ。さて、FRのユーノスロードスターは、トランスミッションヒデフをリジットに結合するアルミ製のP.P.F.【パワープラントフレーム】を採用。これにより、トルク伝達の遅れを極小に抑え、アクセルワークとクルマの挙動の関係をきわめてダイレクトにするのである。さらに、シフト操作時にトランスミッションにかかる力を、P.P.F.で一体化したドライブトレイン全体で受け止めるため、シフトの剛性も実際に高いものとなった。また、リアデフをアルミ鋳造ケースを持つ小型軽量のものとした。しかも5段マニュアル車にはオイルの粘性を利用して滑らかに差動

を制限するビスカス式のLSD【リミテッドスリップデフ】を採用している。排気システムは、排圧ができるかぎり低減するためブリマフラーを省き、強度アップと軽量化を図って、排気マニホールドからテールパイプに至るまですべてステンレスパイプ製とした。また、高周波をカットし、低周波を重視した排気音チューニングにより、抜けがよく低音の効いた心地よいサウンドを実現している。

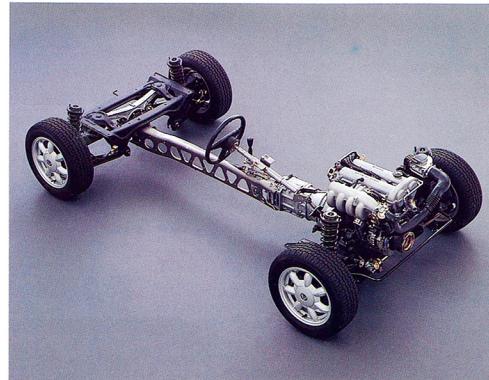
サスペンションは、路面に対するタイヤのジオメトリーをつねに適正に保つ4輪ダブルウィッシュボーンだ。フロント/リアとも、アッパー・アーム/ロア・アームを高剛性クロスメンバーに結合して横剛性を確保し、キャンバー、キャスターなどのアライメント精度をアップ。特に、リアに装着したバフオーマンスバーが、クロスメンバーの剛性を高め、操舵に対するリアタイヤの追従性を向上させている。高G領域まで、ハンドリングの正確さを維持する。そして、対地キャンバー角ゼロをターゲットとする設計などにより、「パワースライド」も積極的に楽しめるコントローラブルな限界特性と、通常走行域でもきわめてクイックに応答するリニアなハンドリングを提供する。なお、リアには、走行安定性を高めるため、タイヤに横

力が加わると、ホイールをトーアインに保ってタイヤのグリップ力を増すトーコントロール機構を備えている。さらに、ホイールハブキャリアの小型化、アッパー・アームの低マウント化などにより、バネ下重量を大幅に低減。0.1m/sec以下の低ピストンスピード領域までチューニングした低圧ガス封入式ダンパーなどと相まって、すぐれたロードホールディング、路面の状況を確実にドライバーに伝え

るダイレクト感を、ハーシュネスを抑えたしなやかな乗り心地とともに実現した。ステアリングシステムは、コナーリングフォースを操舵感として確実にドライバーに伝える、高剛性ラック&ピニオン。ギアレシオは、マニュアルステアリングで18:1【ロックトゥロック3.3回転】、パワーステアリング装着車(オプション)で15:1【ロックトゥロック2.8回転】というクイックなものに設定した。

ブレーキシステムは、フロントがローター径235mmのベンチレーティッドディスクリアがローター径231mmのソリッドディスク。確かな制動力を発揮するのはもちろんのこと、ブレーキのタッチフィーリングをシッカリとしたものにするため、油圧回路系の剛性をアップするなど、さまざまな工夫を凝らしている。

タイヤは、一般的な同サイズのタイヤに比べ、約1kgもの軽量化を果たした185/60R14 82Hスチールラジアル。ユーノスロードスターの走行特性に合わせて専用設計し、操縦安定性と乗り心地の高度なバランスを図った。さらには、トレッドパターンにも独自のデザインを与えて、軽快なオープンボディとのマッチングを追求しているのも、徹底したこだわりのひとつである。



## 排気音まで、速い。

## いつもの40km/hとは、まるで違う。

ボディ剛性の高さが、ハンドリングに与える影響の決して少なくないことは、すでによく知られていることだ。その剛性が低ければ、操舵のたびにボディがねじれ、ハンドリングに対するクルマの追随性はきわめてダルなものになる。ましてオープンボディであれば、ボディ剛性を高めることは、さらに難しくなる。また、いかにボディ剛性を高めても、それによって軽量化をス poileするのでは意味をなさない。ユーノスロードスターのボディは、当然のことながら、オープン専用として設計・開発

している。そして、このことが、スタイ

ングの自由度の高さや、 $C_D=0.38$

(クローズド時)に代表される

すぐれたエアロダイナミ

クスだけでなく、

オープンボ

ディの常識

をはるかに

凌ぐ高い剛性を

実現できた基本要件と

なったのである。基本構造としては、強度/剛性部材のストレート化、結合部剛材の強化、フロアトンネルの強度/剛性部材としての活用、サイドシルなどの大型断面化。具体的な施策として挙げられるのは、フロント/リアのメインフレームをバンパーと同じ高さで、キャビンまで水平かつストレートに通したレイアウト。また、ねじれ/振動などのストレスが集中するヒンジピラーの2重断面化、サイ

ドシルやフロアトンネル断面の大型化などである。さらに特筆すべきは、このボディが、大規模有限要素法や綿密なモーダル解析など最新のコンピューター解析技術によって設計されていることだ。一般的な簡易解析モデルでは、縦横のフレームの接点数が約1600しかとれないのに対し、ユーノスロードスターの場合は実に9000接点を数える。それだけ効果的な補強が可能となり、この

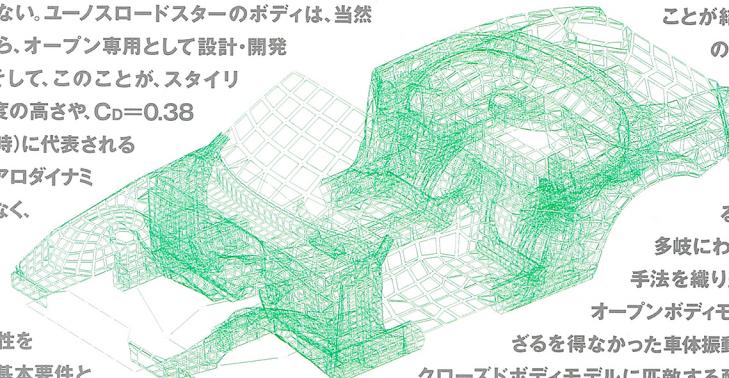
ことが結局は、ボディ剛性の高さと軽量化という本来反対する追求テーマの同時実現をもたらしていくのである。

多岐にわたる剛性アップの手法を織り込むことによって

オープンボディモデルではあきらめ

ざるを得なかった車体振動を大幅に抑制し、

クローズドボディモデルに匹敵する耐久信頼性を確保した。そして何よりも重要なことは、強いボディによって得たねじれ剛性の高さが、ステアリングを切るというドライバーのアクションに即応して、クルマが一瞬の遅れもなくその向きを変える、シャープでダイレクトな車体追随性をもたらしていることだ。かつて、オープンボディモデルに乗った経験があれば、その差は如実に実感できよう。ここにも、ユーノスロードスター独自の「人馬一体」の基本がある。



## オープンであること、忘れててしまう。

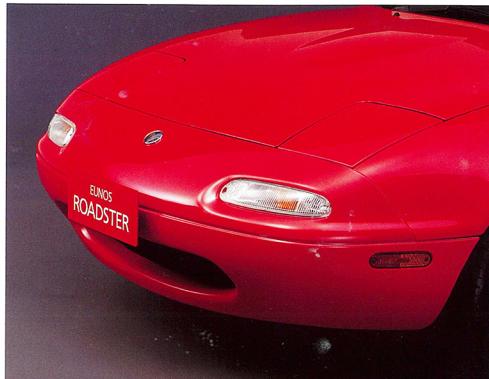
ゼイ肉をそぎ落とし、ウェイトをできるかぎり軽くするため、ユーノスロードスターには、さまざまな手法を取り入れた。その筆頭がアルミ製コンポーネントの多用である。ボンネットフード、オイルパン、シリnderヘッドカバー、インテークマニホールド、トランスマッキシヨンケース、デフマウントメンバー、デフェース、PPF(パワープラントフレーム)。ラジエーターはアルミニ樹脂。ちなみに、ボンネットフードをアルミ製と

することで、スティール製に比べ、約7kgもの軽量化を実現している。また、排気系には、マニホールドからテールパイプまですべてステンレスを採用。そして、コンピューター解析技術によって得た高いボディ剛性を支援するためのボディ鋼板として、強靭で軽量のハイテンション

スティールを適所に配した。なお、軽量化に直接関係はないが、ボディ素材として防錆鋼板をふんだんに採用し、その耐久・信頼性を高めていることも、ここでつけておこう。一方、バネ下重量の低減に大きく寄与するものとしては、同サイズのものに比べ、1輪につき約1kgもの軽量化を果たした専用設計のタイヤ、鍛造スティール製ながらきわめてコンパクトに仕上げた

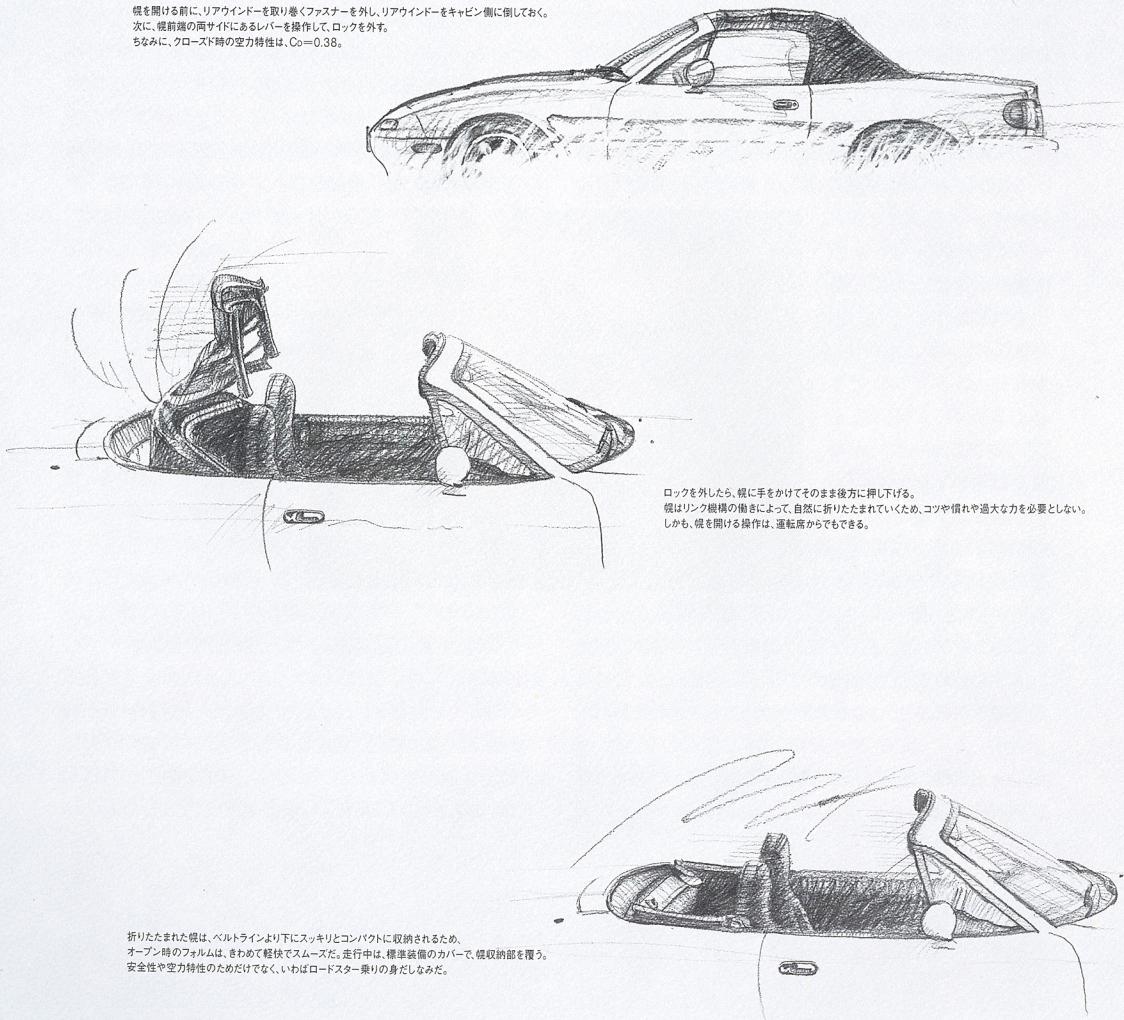
フロント/リアのホイールハブキャリアなどがある。このように、各コンポーネントを徹底的に軽量化していくとともに、ユーノスロードスターは、重量配分のいっそうの適正化を進めた。エンジンをフロントアクスルより後方にマウントするフロントミッドシップ、フロント/リアバンパーの内部構造を含めた樹脂化、軽量小型シールドバッテリーのトランクルーム内への配置、ガ

ソリンタンクと応急用スペアタイヤのリアアクスルより前方への配置、リアエンドバンパーの樹脂化などである。各コンポーネントの位置をクルマの重心点方向に1mmでも近づけ、バンパーのように重心点から遠く離れたオーバーハング部の重量をできるだけ軽減することによって、ヨー慣性モーメントを極小に抑えているのだ。こうしたクルマ全般にわたるトータルな軽量化と、低重心化を含めた適正なレイアウトによって、ユーノスロードスターは、2名乗車時で50:50の理想的な前後重量配分を達成。ステアリングの操作に応じて、俊敏に即座にレスポンスするすぐれた回頭性を実現している。スペックのための軽量化ではなく、走りのための軽量化。だから、身のこなしが軽くなる。



## 身のこなしが、軽くなる。

幌を開ける前に、リアウインドーを取り巻くファスナーを外し、リアウインドーをキャビン側に倒しておく。  
次に、幌前面の両サイドにあるレバーを操作して、ロックを外す。  
ちなみに、クロスド時の大空力特性は、 $C_d = 0.38$ 。



折りたたまれた幌は、ベルトライン以下にスッキリとコンパクトに収納されるため、  
オープン時のフォルムは、きわめて軽快でスマートだ。走行中は、標準装備のカバーで、幌収納部を覆う。  
安全性や空力特性のためだけなく、いわばロードスター乗りの身だしなみだ。

キャビンは、余分な空間を省いたタイトな2シーター。シートは、ドライバーの体を確実にホールドする形状と機能を与えたうえで、特に幅方向をコンパクトに設計。ドアのベルトラインの低さとともに、クルマとドライバーの一体感をより緊密なものとしている。インテリアカラーは、すべてブラック基調。コンパクトなクラスター内の丸型多連メーター、黒地に白の針と文字とし、視認性を高めている。ドライバーの手もとに直立するクロスレシオ5段マニュアルの短いシフトレバーは、レバー比4.4、シフトストローク45mm。手首をかえすだけで俊敏に操作できる、ショートストロークとした。また、カチリカチリと決まる節度感と剛性感にもすぐれる。さらに、2nd→3rd、4th→5th間の斜めシフト

が直線的にできる。ペダル類は、ヒール&トゥのしやすい形状と配置を与え、またデリケートなアクセルワークも意のままに行なえるよう、アクセルペダルのストローク量を大きく設定。また、ブレーキ/クラッチペダルには、確実でリニアな操作感を提供するため、踏力に節度ある重みを与えている。※1また、ロックアップ機構付4段オートマチックは、ギアレシオの最適化とエンジンの

専用チューニングにより、ユーノスロードスターならではのダイレクトで俊敏な走行フィールを提供する。オーディオは、FM/AM電子チューナー、カセットデッキ、ドアスピーカー×2、ヘッドレストスピーカー×4、オートパワーアンテナ。ドアスピーカーがしっかりした中低音で音像を前方定位し、中高音専用のヘッドレストスピーカーが、音像を拡大しサラウンド的な効果をもたらす。また、



オープン走行時にキャビンに入る風は、フロントウインドー傾斜角やトランクリッド高の適切な設定などにより、「髪が後方へ気持ちよくたなびく」ようチューニングした。幌の開閉は、運転席から操作できるマニュアル式。格納時に幌がベルトラインの下に収まるよう、軽量コンパクトでシール性にすぐれた1枚構造クロスと塩化ビニール製のリアウインドーを採用した。リアウインドーは、ファスナーで幌本体に装着され、これだけを取り外しての走行も一興である。そして幌を開ける際には、ファスナーを外し、リアウインドーを先に倒すという手順を踏んでいただきたい。それだけのことで、リアウインドーの寿命ははるかに長くなる。これも乗り手と愛馬に通う「一体感」のひとつではないか。

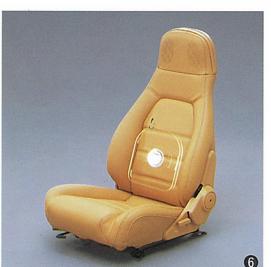
# ホールド ミー タイト。



## 人馬一体を、味わい深くたしなむ。

落ち着きあるオーセンティックな味わいのユーノスロードスター“Vスペシャル”。つややかな色合いのボディカラー、ネオグリーン&ブリリアントブラック。タンカラーの本革シート、イタリア・ナルディ社製のウッドステアリング&5段マニュアルシフト・ノブ。パワーステアリング、パワーウィンドー<sup>+</sup>、アルミホイールを装備。さらに、ステンレス製スカッフプレート&キックプレート、迫力のサウンドを体感できるセンソリーサウンドシステムも装備した。

V  
SPECIAL



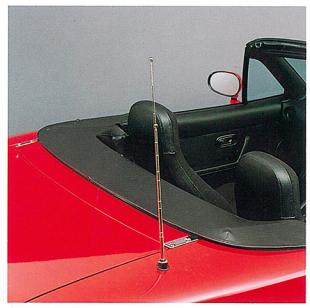
### オーディオまでエンスージアスティック。

タンカラーのインテリアを持つVスペシャル。本革シート&ウッドバーツなどの味わいのアイテムが、クルマとふれあう喜びをいっそう深める。また、インストルメントパネル上面には、滑らかな感触のプロテイン塗装を採用している。そして、注目のアイテムがセンソリーサウンドシステム。これは、シートパックに装着したトランジスタードライバー（振動板）が、重低音を振動に変換してリスナーの体に伝えるオープンカー専用のテクノロジー。車速に応じて振動を適切に制御し、オープン走行時でもダイナミックな重低音を再生。ドアトリム部の高性能ツイーター、ドアスピーカー、ヘッドレストスピーカーなどを加えた合計8スピーカーにより、迫力のサウンドを体で味わえる。

### EQUIPMENT

- ①木製ステアリングホイール&シフトノブ(5MT)(NARDI)木製パーキングブレーキレバー②ステンレス製キックプレート③ステンレス製スカッフプレート④アルミフレーム⑤センソリーサウンドシステム(FM/AW電子チューナー付カセットテープ+CDデッキ)ドアスピーカー(ウーハー×2、ツイーター×2)、ヘッドレストスピーカー×4、トランジスタードライバー(振動板)×2⑥トランジスタードライバー(振動板)内蔵シート

# OPTIONS



オートパワーアンテナ



パワーウィンドー(運転席ワンタッチ機構付)

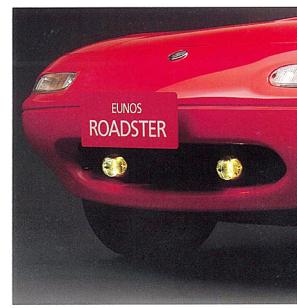


パワーステアリング

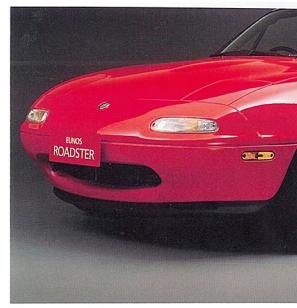


5.5-JJ×14アルミホイール

# SHOP OPTIONS



プロジェクタータイプ フォグランプ(イエロー・55W)



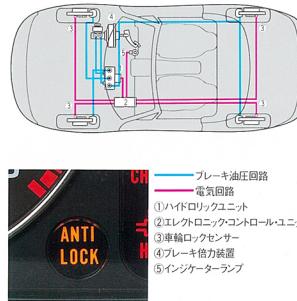
フロントエアダムスカート



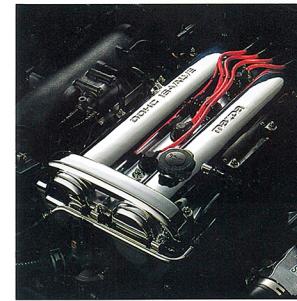
本革製ステアリング(MOMO)



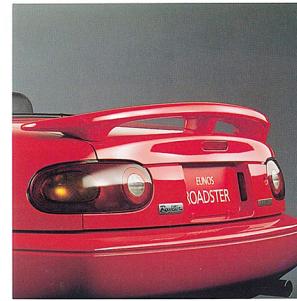
SRSエアバッグシステム



4W-ABS(4輪アンチロックブレーキシステム)



クロームメッキシリングヘッドカバー & ハイテンションコード(レッド)

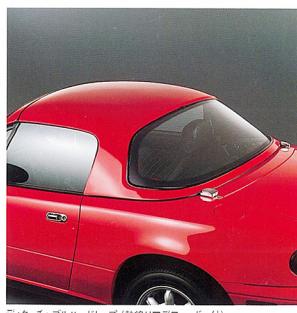


リアspoiler A(フローティングタイプ)



CDデッキ

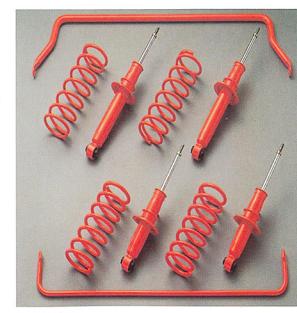
装備及びオプション体系		NORMAL車
ベース車		● \$1
ハーフスリーブ、パワーウィンドー、オートドアアンテナ		●
スマイルパッケージ \$2		●
4W-ABS(4輪アンチロックブレーキシステム)		●
SRSエアバッグシステム		●
ディクチャブルハードトップ \$3		●
センリーサウンドシステム \$4		●
データ通信モジュール	\$1	
その他オプション		
ハードサスケット		
クロームメッキシリングヘッドカバー		
ハイテンションコード(レッド)		



ディクチャブルハードトップ(熱線リアデフォッガー付)



センリーサウンドシステム(Sスペシャル)  
FM/AM電子チューナー付カセットデッキ、CDデッキ、トランシーバー、スピーカー



ハードサスケット



ディクチャブルハードトップ(ブラック)(熱線リアデフォッガー付)



エアコン

## SPECIAL PACKAGE



PHOTO:スペシャルパッケージ装着車 エアコンはショッポオプション

PHOTO:ベース車



CLASSIC RED  
スペシャルパッケージ装着車 ボディカラー:クラシックレッド



SILVER STONE METALLIC  
スペシャルパッケージ、ディッチャブルハートトップ(シルバー)装着車 ボディカラー:シルバーストーンメタリック



MARINER BLUE  
スペシャルパッケージ装着車 ボディカラー:マリーナブルー

## V-SPECIAL



PHOTO:Vスペシャル



BRILLIANT BLACK  
ボディカラー:ブリアントブラック



NEO GREEN  
ボディカラー:ネオグリーン

## S-SPECIAL



PHOTO:Sスペシャル エアコンはショッポオプション

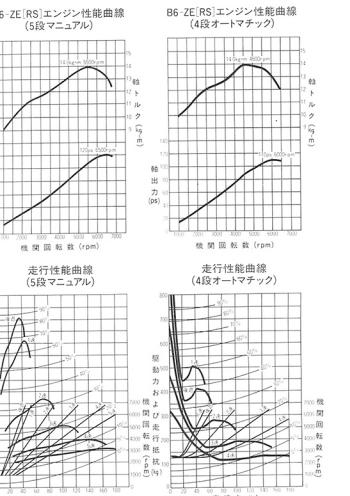


BRILLIANT BLACK  
ボディカラー:ブリアントブラック \*リアスポイラーはショッポオプション



CLASSIC RED  
ボディカラー:クラシックレッド

主要諸元	スペシャリティーカー登録車	V-SPECIAL	S-SPECIAL
ボディタイプ 車名・型式 エンジン	2ドアクーペ ユーズ-E-NACE B6-ZE(RS)		
变速機形式・变速段数	マニュアル 5段 オートマチック 4段		マニュアル5段
寸法・重量			
全長 mm	3970		
全幅 mm	1675		
全高 mm	1235		
室内長 mm	935		
室内幅 mm	1320		
室内高 mm	1025		
ホイールベース mm	2265		
ドリップ・前 mm	1405		
ドリップ・後 mm	1420		
最短地上高 mm	140		
乗車定員 kg ± I	960(990)	960(990)	960
乗車定員名	2		
性能			
最小回転半径 m	4.6		
制動停走距離(初速50km/h) m	12.0		
10.15モード燃費(運転省資源価値)km/l ± I	13.2(1.4)		13.2
60km/h定燃燃費(運転省資源価値)km/l	18.5(18.3)		18.5
エンジン			
型式	B6		
種類	水冷直列4気筒DOHC		
総排気量 cc	1597		
内径×行程 mm	78.0×83.6		
压缩比			
最高出力(kW)ps/rpm	9.4(9.0)	9.4	
最高出力(kW)ps/rpm	120/6500(10/6000)	(20/6500	
最大トルク kg-m/rpm	14.0/5500(14.0/4500)	14.0/5500	
燃料供給装置	電子制御多孔喷射装置		
燃料タンク容量 ℥	無給油キャブガソリン:4.5		
駆動装置			
クラッチ形式	乾燥摩擦ディスク式		
変速比 第1速	3.136(2.84)	3.136	
第2速	1.888(1.54)	1.888	
第3速	1.330(1.000)	1.330	
第4速	1.000(0.720)	1.000	
第5速	0.814(→)	0.814	
後退	3.758(2.400)	3.758	
減速比	4.300(4.300)	4.300	
駆動装置			
アシスト	ラック&ピニオン		
倍力装置形式	エンジン回転数感応型		
サスペンション			
サスペンション・前輪	ダブルウイッシュボーン式		
ショックアブソーバー・前輪	筒型吸撃式		
スピリタizer・前輪	トーションバー式		
駆動装置			
主ブレーキ形式・前	ベンチレーティッドディスク		
主ブレーキ形式・後	ソリッドディスク		
倍力装置形式	8インチ後真空助力式		
タイヤ・ホイール			
タイヤ・前後	185/60R14 82H		
ホイール・前後	14×5.5JJ	14×5JJ	
機種及びオプション体系	NORMAL車		
10.15モード燃費(運転省資源価値)km/l	13.2	13.2(1.4)	13.2(1.4)
※燃費はカートリッジ車の燃費	950	960(990)	960(990)
ヘッドライト	●	●	●
フロントマスク	●	●	●
フロントエアコン	●	●	●
パワーステアリング、パワーブレーキ、オートマチック	●	●	●
スマッシュルーフゲート	●	●	●
4W-ABS(4輪アンチロックブレーキシステム)	●	●	●
SRSエアバッグシステム ※9	●	●	●
デュアルクーラーハンドル ※10	●	●	●
セキュリティシステム ※5	●	●	●
機種価格			
10.15モード燃費(運転省資源価値)km/l	13.2(1.4)	13.2(1.4)	13.2(1.4)
※燃費はカートリッジ車の燃費	960(990)	980(1010)	1020(1050)
ヘッドライト	●	●	●
フロントマスク	●	●	●
フロントエアコン	●	●	●
パワーステアリング、パワーブレーキ、オートマチック	●	●	●
スマッシュルーフゲート	●	●	●
4W-ABS(4輪アンチロックブレーキシステム)	●	●	●
SRSエアバッグシステム ※9	●	●	●
デュアルクーラーハンドル ※10	●	●	●
セキュリティシステム ※5	●	●	●
その他のオプション			
ハンドサンキット			
クロームマップシリンドヘッドカバー			
ハイデンションコードレード			



4面図 ナベシカルパッケージ装着車

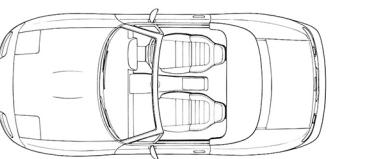
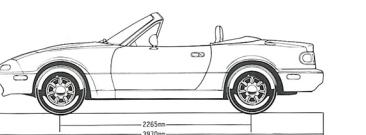
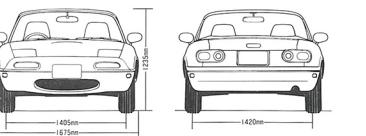


PHOTO:S-SPECIAL リアスボイラーやショップオブション

# **Light Weight Sport, New.**

安全は私達の願い

安全速度で安心運転、シートベルトも忘れずに。

E U N O S